



こんにちは！神奈川県消防署です



令和4年 火災・救急概況(速報)が発表されました！

※数値は横浜市全体のもの

火災件数

火災件数(全火災)は638件で、過去10年で2番目に少ない件数です。このうち**住宅火災は268件**でゆるやかな**減少傾向**となっています。

電気火災が過去最高！

電気による火災が全火災で193件、住宅火災で99件となり、それぞれの割合(全火災30.3%、住宅火災36.9%)が**過去最高**となりました。住宅火災における電気火災の発火源として、**リチウムイオン電池15件、電気ストーブ22件、テーブルタップ10件が上位**となっています。

また、燃やすごみの中に混入したリチウムイオン電池が塵芥(じんかい)車の回転板等で圧縮され出火するケースが8件発生しています。

スマートフォンなどに使われているリチウムイオン電池を充電する際は周囲に可燃物を置かず、膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、いつもと違って異常を感じたらすぐに使用を中止しましょう。

※電気火災とは電気に起因する火災で、スマートフォンなどに使われるリチウムイオン電池や家電製品などの電気機器のほか、電気こんろ、電気ストーブ、テーブルタップなどが発火源となった火災です。



図4 住宅火災における電気火災の推移



主な出火原因

【全火災】

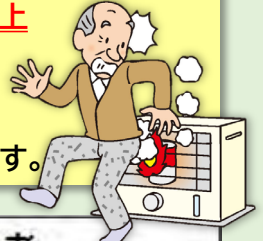
- ①たばこ : 102件
- ②放火(疑い含む) : 93件
- ③電気機器 : 69件

【住宅火災】

- ①こんろ : 55件
- ②たばこ : 42件
- ③電気機器 : 33件

住宅火災による死者

住宅火災における死者(放火自殺を除く)は**9人**で、**すべて65歳以上の高齢者**の方でした。このうち**6人が逃げ遅れ、2人が着衣着火、1人が避難後に再度出火した建物に戻り亡くなっています。**



救急の概況

救急出場件数は**244,086件**で、前年と比べて**39,659件増加**し、搬送人員も**192,173人**で、前年と比べて**21,152人増加**し、いずれも**過去最多**を記録しました。搬送人員の割合を年代別にみると**65歳以上の高齢者が56.4%**を占め、傷病程度別にみると**軽症が48.3%、中等症以上が51.7%**を占めました。



※中等症以上とは入院を必要とするもの



この内容の詳細は、右の二次元コード等から横浜市ホームページをご覧ください！



図6 住宅火災における死者(放火自殺を除く)



電子レンジからの出火が増えています！



電子レンジで調理中の出火が増えています！電子レンジの周囲には可燃物を置かず、庫内の食品カスや油脂汚れ等の定期的な清掃とともに、長時間加熱する際はそばを離れないようにしましょう！

- ・レンジ機能でアルミホイルを加熱しない！
- ・金属をレンジ機能で加熱すると火花が発生し火災になる可能性があります。
- ・いも類や中華まん等の長時間加熱は危険！
- ・根菜類や中華まんは長時間加熱しすぎると急速に燃える可能性があります。
- ・冷凍食品を加熱する際は、包装に記載された方法をよく読んでから！
- ・包装紙にはレンジで加熱できないものもあります。

注意！



横浜消防マスコット ハマくん

電子レンジ内から出火した場合はレンジの電源を切り、コンセントからプラグを抜いて炎や煙が落ち着くまで電子レンジの扉は開けず、119番へ通報するとともに消火器等の準備をしましょう。